

取付説明書

DAF9Z/DAF11Z

9型/11型ワイドXGA LED液晶 ディスプレイオーディオ

DA7Z

7型ワイドXGA LED液晶 ディスプレイオーディオ

販売店様へ

製品取り付け終了後に、必ずこの取付説明書をお客様へお渡しください。

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

<電話でのお問い合わせ>

TEL: 0570 - 006636

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

(携帯電話・PHS: 20 秒 10 円)

※ 一部 IP 電話など接続できない場合には、

次の番号をご利用ください。

03-6704-4926

または

03-6747-4221

<メールでのお問い合わせ>

ホームページのお問い合わせ

フォームより受け付けています。

<FAX でのお問い合わせ>

FAX: 045 - 522 - 8700



< LINE でのお問い合わせ >

「友だち追加」から友だち追加できます。

※ LINE アカウントをお持ちでない

場合には、LINE 会員登録が必要

になります。

- 電話受付時間（土、日、祝日、弊社休業日を除く）

月～金： 9:30 ～ 17:30

https://www.alpine.co.jp

アルパインホームページ

アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介します。

Printed in Thailand (Y_A2)

68-41657291-C

Designed by ALPS ALPINE Japan

Model: Music Halo

<取り付けについて>

DAF9Z/DAF11Z:

取り付けには、別売の「取付キット」が必要です。

DA7Z: 取り付ける車種により、別売の取付金具等が必要になる場合があります。

<電源コードについて>

DAF9Z/DAF11Z:

電源コード(オーディオ変換コネクター)は別売の「取付キット」に同梱されています。

「取付キット」を使用しない場合は、別売の電源コード(KCE-GPH16)が必要です。

2 車を安全で平坦な場所に停める。

パーキングブレーキをかけ、エンジンキーを抜く。

3 バッテリーのマイナス端子を外す。

- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消える場合があります。
- 一部の車種(外国車等)では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

4 取り付ける車種に応じて、インパネ周りやメーターパネル類などの内装部品やオーディオ取付用純正ブラケットを外す。

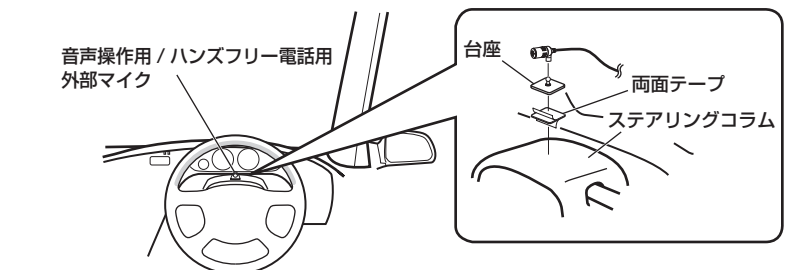
- 純正ブラケットは、車種により製品本体取り付け時に使用場合があります。

2. 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクを取り付ける

注意 安全にお使いいただくために、次のような場所に取り付けてください。

- 安定しているしっかりした場所。
- 運転したときに視界や運転操作の妨げにならない場所。
- 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクは、ドライバーの声が拾いやすい場所に取り付けてください。発話するときに、姿勢がかわる様なことがあると、走行中の安全に支障をきたします。ドライバーの声が拾いやすい様に、マイクの向きや距離を考慮してから取り付けてください。

1 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクを取り付ける。



注意 ● 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクを取り付けないと、ハンズフリー、および音声認識機能が使えません。
● 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクのコードは、ハンドル操作やブレーキ操作など運転操作の妨げにならないように配線してください。

必ずお読みください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる事故やケガに対して、当社は責任を負いかねます。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買上げ店に取り付けを依頼してください。

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買上げ店より入手してください。
- 車のインパネ等の「取り付け取り外し情報」をお買上げ店から入手してください。
- 動作確認の際には本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 水平に対して30度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買上げ店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

	強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。		禁止	禁止(やってはいけないこと)の内容を示しています。
		注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。			

警告

- **強制** DC12V マイナスアース車専用です
24V 車で使用しないでください。事故・火災・故障の原因になります。
- **取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する**
取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。
- **説明書に従って、取り付け・配線をする**
作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります。

3. GPSアンテナを取り付ける

注意 安全にお使いいただくために、次のような場所に取り付けてください。

- エアバッグ作動時に、その動作を妨げる場所への取り付け、配線は行わないでください。
- GPSアンテナのコードは非常にデリケートな部分です。必要以上に力を加えたり、曲げたりしないでください。
- GPSアンテナには、塗装しないでください。受信性能が落ちる場合があります。
- GPSアンテナは車外に取り付けなくてください。
- なるべく水平になるように取り付けてください。傾いた取り付けは、感度低下の原因になります
- 別売のETC車載器やビーコンユニット等他機器に近づけて取り付けると、お互いに悪影響を与え合う可能性があります。取り付け場所には、十分ご注意の上、他機器とは十分な間隔を確保してください。

1 GPSアンテナをダッシュボードに取り付ける。

- 貼り付け面の汚れを落としてから、取り付けプレート
- を貼り付けます。
- GPSアンテナ底面の両面テープの保護紙を剥がして、
- 取り付けプレートにGPSアンテナを貼り付けます。
- なるべくガラス面に近い位置に取り付けます。



2 コードをコードクランプで固定する。

4. 接続する 接続することにより OK に 点をつけてください。

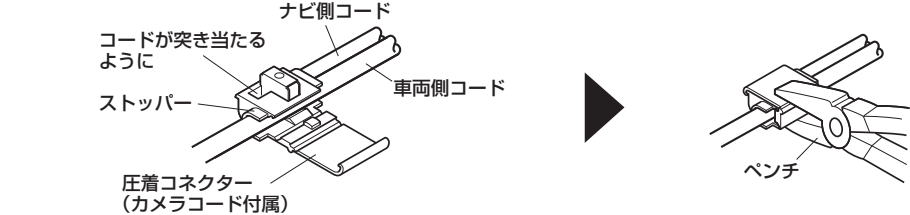
1 はじめに

- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- **接続は奥までしっかり差し込んでください。**誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。
- 接続の際は、それぞれの製品に付属されている専用コードをご使用ください。なお、関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

注意 ● 正しい接続をする。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
接続しないコードは、絶縁テープを巻く等の処置をしてください。

2 車両ハーネスを確認する。

■ 必要に応じて圧着コネクターを装着する。



- **強制** 配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする感電・ケガの原因になります。
- **コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる**
ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する
ショートにより、火災や感電、故障の原因になります。

安全のため、パーキングブレーキ線を必ず接続する
交通事故の原因になります。パーキングブレーキ線の接続により、走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守る
事故・火災・故障の原因になります。

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かぬところに保管する
誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通りに正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因になります。

分解・改造をしない
特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。

視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、
取り付けられない
事故・ケガの原因になります。

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わない
制動不能・火災の原因になります。

助手席エアバッグの近くに取り付け・配線をしない
エアバッグの動作を妨げ、死傷事故・ケガの原因になります。

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない
事故・火災の原因になります。

注意

● **強制** 車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジが緩まないように確実に締め付ける
ネジが緩み、事故・故障の原因になります。

● **強制** コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないよう配線する
断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

付属部品を指定通りに使い、確実に固定する
付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたらうして運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。

● **禁止** コード類は絶対に途中で切断しない
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因になります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない
火災や感電の原因になります。

● **禁止** 水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けない
火災・故障の原因になります。

● **禁止** 通風孔・放熱板をふさがない
火災・故障の原因になります。

3 接続する。

基本接続図および接続例は裏面を参照してください。

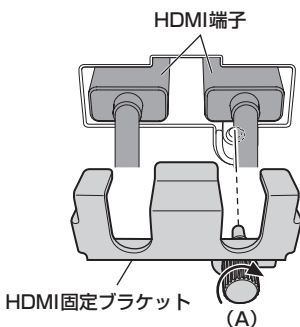
車両雑音から守るために

- アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- バッテリー・電源コードとP/N接続コードは離す。
- ノイズサプレッサーを使う場合はできるだけ本機から離す。

HDMI接続ケーブル使用上のご注意

HDMI接続ケーブルを使用する場合は、付属のHDMI固定金具
でHDMI端子にケーブルを固定してください。

1 HDMI固定ブラケットをネジ(A)で固定する。



5. ディスプレイユニットを取り付ける前に (DAF9Z/DAF11Zのみ)

注意 ● 取り付けによって視界や運転の妨げにならないことを必ず確認してください。
下図の空間にディスプレイの動きを妨げるものが無いように、位置を調整してください。

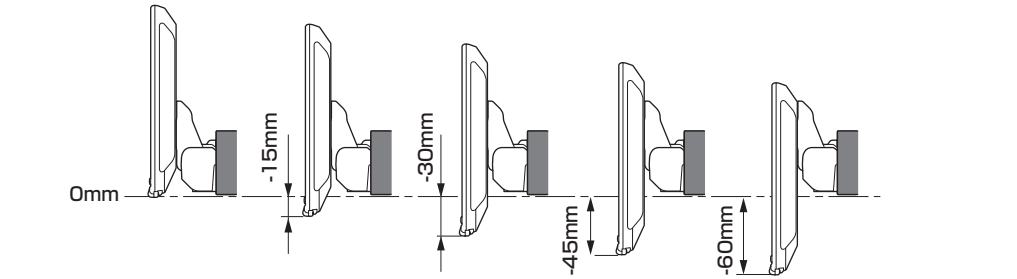
取り付け後の本機の可動域

- 下記の場合は取付できません。
 - ・ ハンドル操作や各種レバー(シフトレバーやワイパーレバー、ウインカーレバーなど)操作の妨げになる場合
 - ・ エアバッグ動作や各種レバー(シフトレバーやワイパーレバー、ウインカーレバーなど)操作の妨げになる場合
 - ・ ハザードスイッチの操作の妨げになる場合
 - ・ その他各種操作スイッチ類の誤作動の妨げになる場合
 - ・ 各種メータ類や警告灯などの確認の妨げになる場合
 - ・ 車両装備(スイッチやパネルなど)に干渉する場合

※ これらの場合に該当するか否かは、アルパインホームページ【https://www.alpine.co.jp】の適合車種一覧をご確認ください。

- 取り付ける車両によっては、グローブボックスやカップホルダーが使用できなくなったり、エアコン送風口が隠れたりする場合があります。

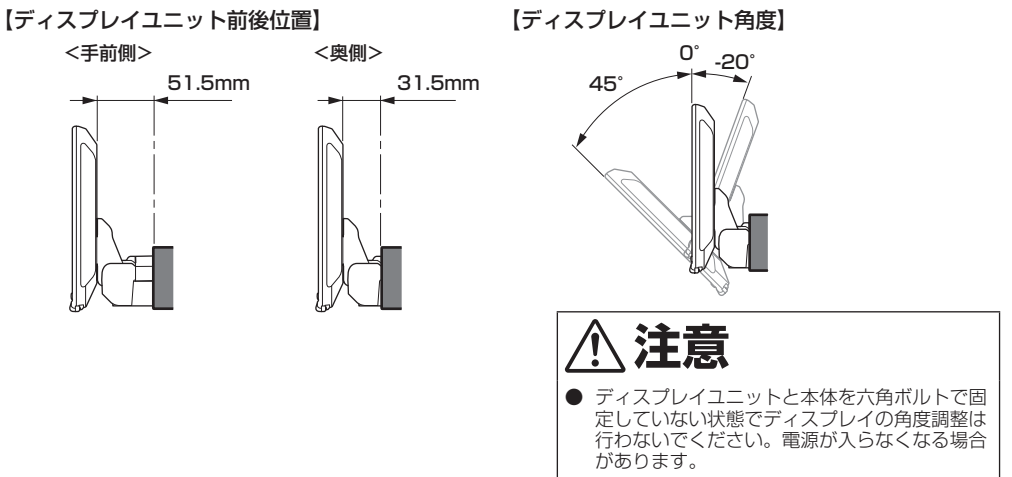
【ディスプレイユニット上下位置】



1. はじめに

1 付属部品を確認し、工具/取り付け情報をそろえる。

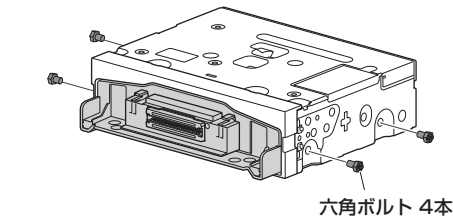
■ 共通部品		
電源コード	リモートコード	カメラコード
(DA7Z付属)		
※DAF11Z/DAF9Z:別売		
ブリアウトコード	音声操作/ハンズフリー電話用外部マイク	GPSアンテナ取付用部品一式
HDMIカパー	バインドネジ(M5×8)	サラネジ(M5×8)
	×4	×4
■ DAF9Z/DAF11Z専用ディスプレイ取付部品		
リアカバー	ディスプレイ検出プレート	目隠しカバー
六角ボルト(黒)(M5×8)	ネジ(M3×4)	バインドネジ(M2.6×6)
×4	×2	×2
ディスプレイシール	目隠しシール(リアカバー)	目隠しシール(目隠しカバー)
2×20mm(×4) 2×35mm(×2) 2×50mm(×2)	×1	×1



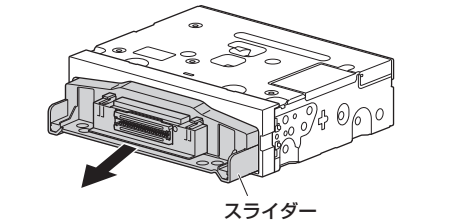
ディスプレイユニットの前後位置を調整する

取り付ける車両により、ディスプレイユニットの前後位置が異なります。
ディスプレイユニットの前後位置の調整は、スライダーを手前側に引き出してください。また、前後位置の調整は、ディスプレイユニットを車両に取り付ける前に行ってください。
【初期設定:後方位置】

1 製品本体の両側に固定されている六角ボルト4本を取り外す。



2 スライダーを手前側に引き出す。(奥側へ戻す場合は、スライダーを押し込んでください)



裏面に続く=>

6. 本機を取り付ける

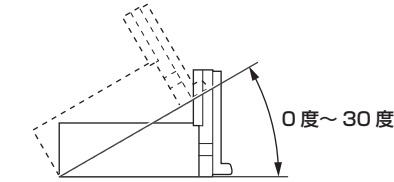
取り付け時のご注意

- 車内の温度が低い(0℃以下)場合は、本機が正常に動作しない場合があります。常温になってからお使いください。
- 本機は精密な部品を用いて精密に組み立てられています。性能を維持するために、本機に無理な力を加えたり、強い振動を与えたりしないでください。

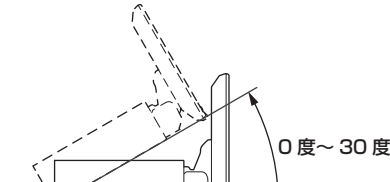
取り付け角度のご注意

- 本機取り付け角度は、下記の角度の範囲内で、なるべく水平に取り付けてください。取り付け角度が大きいと現在地を正しく表示できなくなるほか、本機故障の原因となります。

■ DA7Z

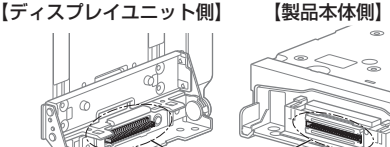
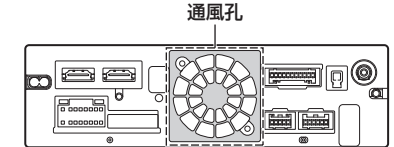


■ DAF9Z/DAF11Z



注意

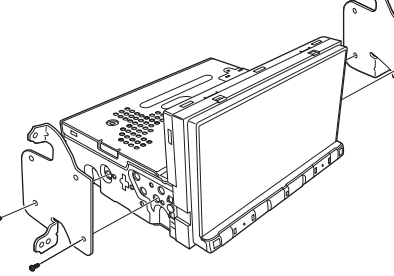
- 通風孔をふさがれない。通風孔をふさがれないでください。火災・故障の原因になります。
- 本体およびディスプレイユニットを取り付ける際は、接続端子部分には手を触れないよう注意してください(DAF9Z/DAF11Zのみ)。



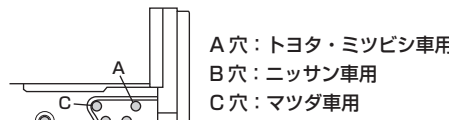
- ・通風孔に強い力を加えないように注意してください。破損の原因になります。
- ・取り付けの際、通風孔の開口部にコード類を巻き込まないようにご注意ください。

1 製品本体にブラケットを付属のバインドネジ(M5×8)でしっかり固定し車両にしっかり取り付ける。

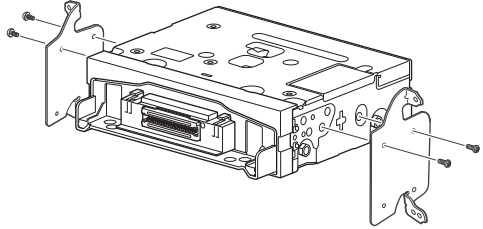
■ DA7Z



<取り付け用ネジ穴>



■ DAF9Z/DAF11Z



<取り付け用ネジ穴>

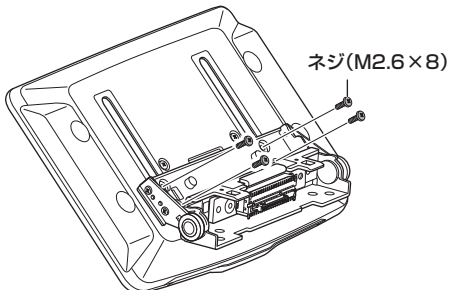
- A 穴：トヨタ・ミツビシ車用
- B 穴：ニッサン車用
- C 穴：マツダ車用

- ・サラネジを使用する場合、必ず付属のサラネジ(M5×8)を使用して取り付けてください。

2 パネル(インパネ)を取り付ける。

7. ディスプレイユニットを取り付ける (DAF9Z/DAF11Zのみ)

1 ディスプレイユニット裏面の4本のネジを外して、ディスプレイユニットの上下位置を調整する。



【初期設定値:0mm】

ディスプレイユニットの上下位置が決まったら、外した4本のネジで固定する。

2 ディスプレイユニットの上下位置にあわせて、ディスプレイシールを貼る。

ディスプレイシールはサイズの違う3タイプがあります。

ディスプレイシール	上下位置
2×50mm:	上下位置が0mm、-60mmのときに使用します。
2×35mm:	上下位置が-15mm、-45mmのときに使用します。
2×20mm:	上下位置が-30mmのときに使用します。

0mm

ディスプレイシール (2×50mm)



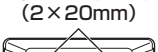
-15mm

ディスプレイシール (2×35mm)



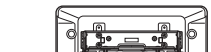
-30mm

ディスプレイシール (2×20mm)



-45mm

ディスプレイシール (2×35mm)



ディスプレイシール (2×20mm)

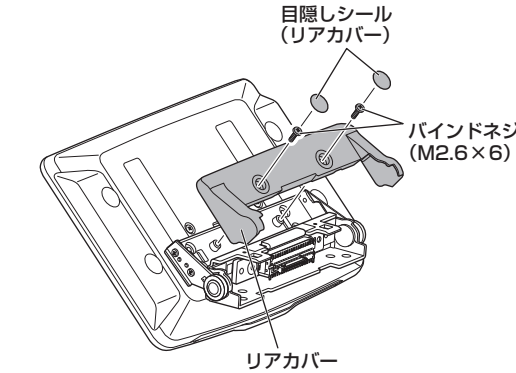


-60mm

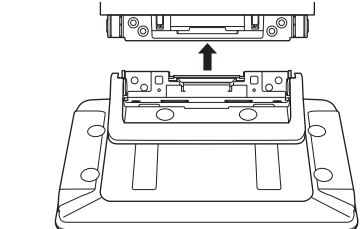
ディスプレイシール (2×50mm)



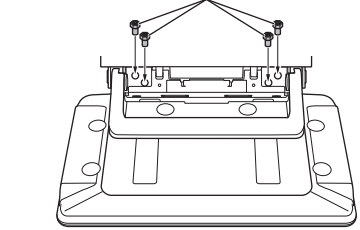
3 リアカバーをディスプレイユニットの裏面に2本のバインドネジ(M2.6×6)で取り付ける。ネジ止めたあと、目隠しシール(リアカバー)を貼り付ける。



4 4本の六角ボルト(黒)(M5×8)でディスプレイユニットを本体のスライダーに固定する。



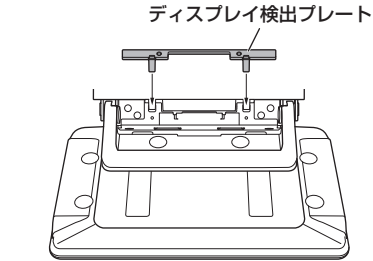
六角ボルト(黒)(M5×8)



注意

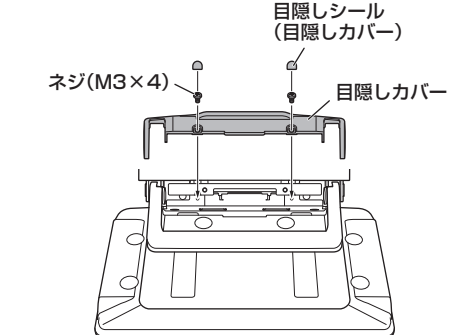
- ディスプレイユニットと本体を六角ボルトで固定していない状態でディスプレイの角度調整は行わないでください。電源が入らなくなる場合があります。

5 ディスプレイ検出プレートを取り付ける

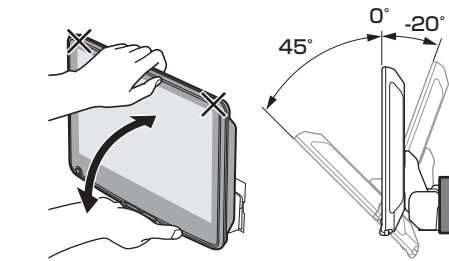


- ディスプレイ検出プレートを取り付けしないとディスプレイに電源が入りません。必ず取り付けてください。

6 目隠しカバーを2本のネジ(M3×4)で取り付ける。ネジ止めたあと、目隠しシール(目隠しカバー)を貼り付ける。



7 ディスプレイの上下中央部を両手で持って角度を調整する。



- ディスプレイを動かすときは、必ず上下中央部を持って動かしてください。ディスプレイ保護のため、左右両端を持って動かさないでください。
- 左右方向への角度調整はできません。

8. 確認する

1 コード類を固定する。

シートレール等の可動部にはさみ込む、または突起部に当てる等コードを傷めないように注意して固定してください。

2 バッテリーマイナス端子を接続する。

3 エンジンキーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

4 ホーン(クラクション)、ストップランプ等の車両電装品が正しく動作することを確認する。

9. 接続状態を知る

取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。本体の電源を入れて、GPSアンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。また、本機の動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

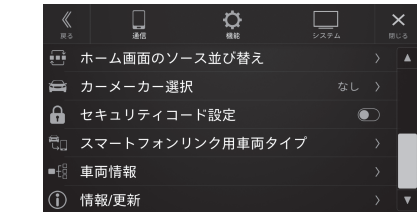
1 888 (HOME)スイッチを押します。

ナビメニュー画面が表示されます。

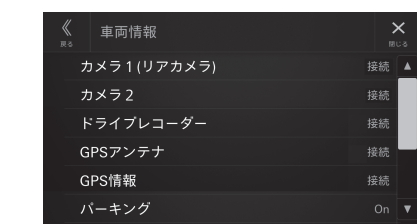


2 [設定]にタッチします。

3 [システム]タブにタッチし、[車両情報]にタッチします。

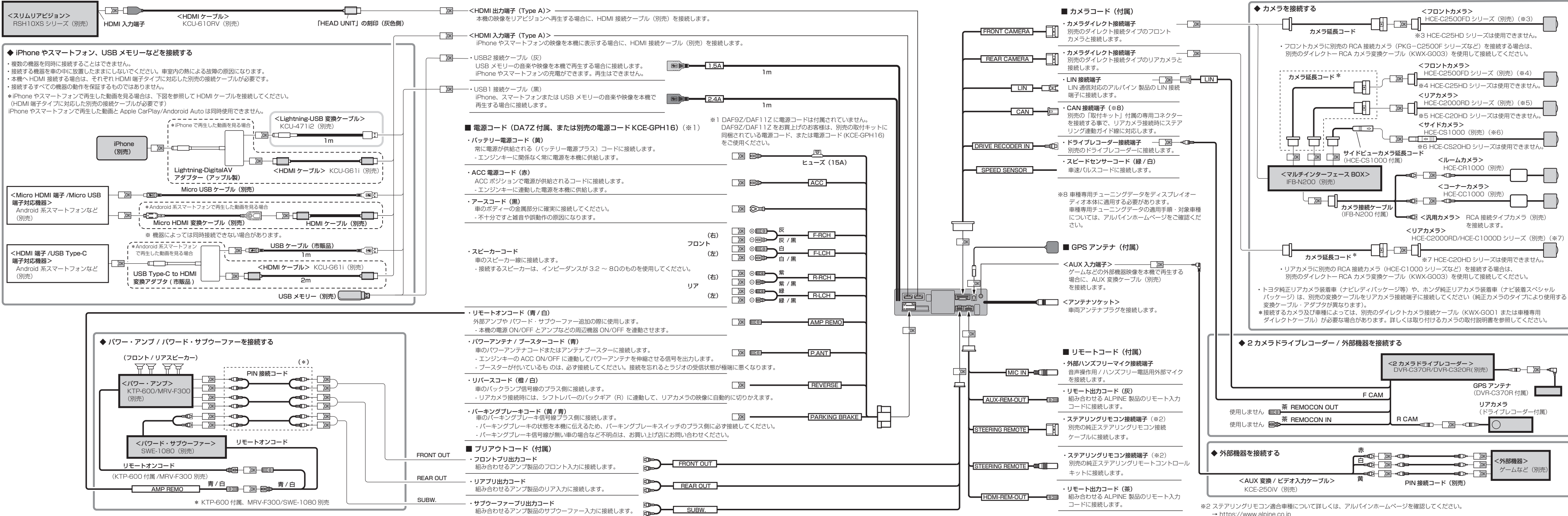


車両情報画面が表示されます。



- 車速パルスは、停車時等車速が入っていない時はOFFと表示されます。

基本接続図



※2 ステアリングリモコン適合車種について詳しくは、アルパインホームページを確認してください。
→ <https://www.alpine.co.jp>